



真龍小便い

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.7 令和6年9月30日発行

「子どもなんだから・・・」「子どもだからと言って・・・」

校長 齊藤 直彦

「子どもなんだから〇〇になってしまうのはしょうがない。」というお話を聞くときがあります。例えば、「友達に何かを言われて、それに対して言い返してしまうのは、子どもなんだからしょうがない。」とか、「鬼ごっこをしていると夢中になってしまうのだから、鬼から逃げようとして転んでしまうのは子どもなんだからしょうがない。」というような内容（趣旨）です。たしかに、子どもの特性だけでとらえると、このようなお考えは当てはまると思います。楽しいことに没頭すると、周りが見えなくなってしまうたり、気に入らないことがあると、怒りの感情を抑えきれずに自分が言われた内容よりももっとひどい言葉で言い返してしまったりするようなことは、日常的に起きることです。（真龍小学校に限って言っているわけではなく、一般論として）

でも、「しょうがない からと言って「放っておく」ことではないと学校は考えています。子どもの特性としてありがちなことかもしれないけど、学校では「次はどうしたらよいと思う？」と子どもに問いかけて、考えさせるようにしています。「言い返したために口論となって、拳句の果てにつかみ合いのけんかになってしまい、どちらかがけがをするようなことにならない方法」や、「鬼から逃げようとして後ろ向きに転んでしまい、頭を地面に打ちつけて大けがにつながらない方法」を、子どもに考えさせずに、「子どもなんだからしょうがない」で片づけてしまうと、子どもの学びのチャンスを奪い、子どもができることを大人の過度の配慮でさせない、いわゆる「甘やかし」になってしまいます。

もう一つは、「子どもだからと言って許されない。」というお話も聞くときがあります。例えば、「友達をたたくことは、子どもだからと言って許されない。」というような内容（趣旨）です。もちろん、人をたたく行為はしてはいけないことです。だからと言って学校では、「してはいけないことをした子」に対して「許されないことをする子」という「レッテル貼り」はしません。レッテル貼りは「差別」になってしまうからです。ですから、学校では「これから、人をたたいたりせずに回避できる方法」を子どもと一緒に考えていきますし、それが「教育の本質」だと捉えています。もちろん、たたいた相手に対しての「誠意」をしっかりと伝えるという「けじめ」や「責任」も教えながら、ということになります。

まとめると「学校で起きる事」は、どんな事も「子どもの学びにつなげていく」ことを前提に教育活動を行っています、ということです。

「再起のチャンスは誰にでも何度でもあるし、与えられなければならない」
 このことを、大切な軸の一つにしなが、後期も子どもの教育に向き合っていきます。

日	曜	10月の主な行事
1	火	短縮日課
2	水	5年生社会見学（釧路町自動車整備工場）クラブ④
3	木	短縮日課 中休み読み聞かせ（3年）
4	金	短縮日課
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	短縮日課
9	水	3年生社会見学（太田農協）
10	木	短縮日課
11	金	短縮日課
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	短縮日課
16	水	短縮日課
17	木	通常日課 学習発表会（児童・地域公開日） 警察署下校見守り活動
18	金	短縮日課
19	土	学習発表会（一般公開日）
20	日	
21	月	開校記念日（振替休業日）
22	火	短縮日課
23	水	真小タイム：書くことパワーアップ① 避難訓練・防災教育 児童委員会 SC 来校日
24	木	短縮日課
25	金	短縮日課 保護者面談①
26	土	
27	日	
28	月	児童朝会（新聞委員会）二計測・視力検査（1・2年） 保護者面談②
29	火	短縮日課 二計測・視力検査（3・4年） 保護者面談③
30	水	特支2町合同学習会 放課後学習
31	木	短縮日課 二計測・視力検査（5・6年） 保護者面談④

10月の帰宅時刻 17:00
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

笑顔があふれる給食試食会

1年生と4年生（9月2日）、および3年生（9月10日）にて、保護者を対象とした給食試食会が開催されました。保護者の皆さまには、子どもたちが給食の配膳をしているところからご覧いただきました。給食当番の子どもたちが中心になって、係の仕事に責任をもって取り組んでいる様子を見ていただけたことと思います。その後、保護者の皆さまにも、子どもたちと同じメニューの給食を味わっていただきました。「とてもおいしい！」「子どもたちが笑顔で給食を食べている様子が見られて、良かったです」といった嬉しいお声をたくさんいただきました。

今回の試食会では、保護者の皆さまに、子どもたちが毎日楽しみにしている給食を実際に味わっていただきながら、学校給食への理解を深めていただく機会となりました。広報あつけし10月号では、学校給食が特集されています。本校にも役場の方が来校し、6年生の給食の様子を取材した記事が載っています。そちらもご覧いただき、ご家庭でも、給食に関する話題で子どもたちとコミュニケーションを図っていただくと幸いです。

給食試食会は、PTAの企画として過去にも行われておりましたが、コロナ禍もあり、暫く実施しておりませんでした。5月に行われたPTA専門委員会で、ぜひ子どもたちと一緒に給食を食べてみたいという声が出席者の中から挙がり、今回開催する運びとなりました。準備を進めてくださった各学級代表の皆さま、ありがとうございました。今後も、保護者の皆さまお一人おひとりが主体的に参加できるPTA活動を目指していきます。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。



5年生・宿泊研修

9月5日（木）6日（金）の2日間、5年生がネイパル厚岸にて宿泊研修を行いました。森の中のウォークラリーやグループで協力しての火おこしなど、普段の学校生活では中々できない体験を積むことができました。

この2日間の経験を、これからの学校生活に役立ててほしいと思います。

芸術鑑賞会

9月4日（水）、芸術鑑賞会が行われました。今年は、手塚治虫原作の演劇「雨降り小僧」を鑑賞しました。

プロの舞台俳優さんによる迫力ある演技や、照明を効果的に活用して表現された幻想的な世界に、子どもたちは息をのんで見入っていました。

今回の演劇鑑賞を通して、子どもたちは、友情の大切さや、約束を守るということの意味を深く理解したのではないかと思います。手塚治虫という素晴らしい漫画家の作品に触れることで、豊かな心を育む良い機会となりました。

避難訓練

9月10日（火）、火災を想定した避難訓練を行いました。火災警報が鳴った後は、おしゃべりをせずに素早く運動場へと避難する子ども達の姿が見られました。避難後は、厚岸消防署の方から今回の訓練について講評を頂きました。10月23日には、地震後の津波警報発令を想定し、コンキリエへ実際に避難する訓練を行う予定です。今後も、様々な場面を通じて、子ども達の防災意識の向上に努めていきます。

残念無念！遠足中止

9月20日（金）、子どもたちが楽しみにしていた遠足ですが、あいにくの雨のため、中止となりました。子どもたちはとても残念がっていましたが、安全を第一に考え、この決定にいたしました。子どもたちが少しでも遠足気分を味わえるように、各学年毎に体育館でのレクリエーションや、おやつタイムを設けました。保護者の皆さまにおかれましては、朝早くのメール確認やお弁当の準備等、ご協力ありがとうございました。

真龍小学校便り おすすめ本(R6.9月号)

『ねえ、どれがいい？』

作・ジョン・バーニンガム

訳・まつかわ まゆみ（評論社）

真龍おはなし隊 小島 郁子

一昔前、《究極の選択》というのが流行りましたが、覚えている方はいらっしゃいますか？

この絵本も、言わば《究極の選択》の連続絵本です。

「ねえ、どれがいい？」と聞きながら、次々と出されてくるのは、とんでもない選択ばかり！

例えば・・・もしもだよ、きみんちのまわりがかわるとしたら、こうずいと、おおゆきと、ジャングルと、ねえ、どれがいい？こんな具合です。

子どもたちは、「どれもイヤ！」と言いながら、大喜びであれやこれや悩みます。

全体の色あいがパステル調で、ちょっととぼけた表情の人や動物たちの絵がまた良い感じで、読んでいるとほのぼのとした気持ちになります。

初版が1983年、2023年に新版12刷発行という長く愛されてきたベストセラー絵本で、低学年はもちろん、高学年に読み聞かせしてみたい絵本です。

2018年には、続きの絵本『またまた ねえ、どれがいい？』も出版されています。

秋の夜長、ご家族で《究極の選択》を楽しんでみませんか？

※どちらも、学校図書館、厚岸情報館に所蔵があります。

